

The Yokohama Shinkin Bank Semi-Annual Report



《よこしん》半期レポート
令和6年4月1日～令和6年9月30日

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

1 預金・貸出金の状況

預金残高は、個人預金・法人預金が順調に推移した結果、3月末に比べて476億円、2.3%増加し、2兆986億円（譲渡性預金含む）となりました。

貸出金残高は、地元中小企業者への円滑な資金供給に積極的に努めた結果、3月末に比べて113億円、0.9%増加し、1兆1,885億円となりました。また、特定の業種に偏ることなく、さまざまな業種のお客さまにご利用いただいております。

■預金・貸出金の残高

(単位：百万円)

	令和6年3月末	令和6年9月末	増減
預金積金（譲渡性預金を含む）	2,050,966	2,098,646	47,679
貸出金	1,177,241	1,188,586	11,345

■貸出金の業種別残高

(単位：百万円、%)

	令和6年3月末		令和6年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	111,048	9.4	109,969	9.2
農業、林業	1,706	0.1	1,642	0.1
漁業	162	0.0	198	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	203,519	17.2	207,492	17.4
電気・ガス・熱供給・水道業	136	0.0	118	0.0
情報通信業	8,050	0.6	9,304	0.7
運輸業、郵便業	45,196	3.8	45,812	3.8
卸売業	82,529	7.0	84,444	7.1
小売業	43,233	3.6	45,177	3.8
金融業、保険業	8,535	0.7	8,675	0.7
不動産業	288,359	24.4	284,697	23.9
物品賃貸業	8,151	0.6	8,838	0.7
学術研究、専門・技術サービス業	5,490	0.4	5,977	0.5
宿泊業	9,769	0.8	9,332	0.7
飲食業	27,236	2.3	26,865	2.2
生活関連サービス業、娯楽業	14,778	1.2	16,745	1.4
教育、学習支援業	6,069	0.5	6,408	0.5
医療・福祉	29,176	2.4	29,670	2.4
その他のサービス	80,584	6.8	85,756	7.2
小計	973,737	82.7	987,129	83.0
地方公共団体	14,008	1.1	13,276	1.1
個人（住宅・消費・納税資金等）	189,495	16.0	188,180	15.8
合計	1,177,241	100.0	1,188,586	100.0

(注) 不動産業には不動産賃貸業を含みます。

2 不良債権の状況

経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくため、不良債権の適切な開示に努めています。

不良債権残高は、3月末に比べ56億円、8.52%増加し714億円となりました。不良債権に対する備えは、担保や保証、貸倒引当金により97.26%が保全されています。

■信用金庫法開示債権および金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

	債権額 A	保全額 B	保全率			引当率 E / (A-C-D)	
			優良担保・保証 割手等C	一般担保 D	貸倒引当金 E		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,357	4,357	3,008	575	773	100.00%	100.00%
危険債権	59,644	58,263	49,648	7,072	1,541	97.68%	52.75%
要管理債権	64,638	63,337	54,375	7,734	1,227	97.98%	48.55%
三月以上延滞債権	1,842	1,349	—	816	532	73.20%	51.88%
	2,568	1,913	—	1,350	563	74.52%	46.26%
	—	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	1,842	1,349	—	816	532	73.20%	51.88%
	2,568	1,913	—	1,350	563	74.52%	46.26%
不良債権合計 F	65,844	63,969	52,657	8,464	2,848	97.15%	60.30%
	71,455	69,501	57,691	9,690	2,119	97.26%	52.01%
正常債権	1,115,814	不良債権比率 F / G					
	1,121,495						
総合計 G	1,181,658	5.57%					
	1,192,951	5.98%					

(注) 上段は令和6年3月末、下段は令和6年9月末の計数です。

3 自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は、10.49%と、国内基準(4%)を上回る高い水準を維持しています。

(単位：百万円)

項目	令和6年3月末	令和6年9月末
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	103,556	105,144
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,658	1,644
うち、利益剰余金の額	101,981	103,499
うち、外部流出予定額(△)	82	-
うち、上記以外に該当するものの額	△0	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,253	1,273
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,253	1,273
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	104,809	106,418
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	1,757	1,593
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	1,757	1,593
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	1,757	1,593
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	103,052	104,824
信用リスク・アセットの額の合計額	950,892	954,678
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	44,392	44,392
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	995,285	999,070
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	10.35%	10.49%

4 収益の状況

(単位：百万円)

業務純益は前年比△1億円、10.4%減少の15億円、コア業務純益(投信解約損益除く)は1億円、7.8%増加の25億円となりました。

当期純利益は前年比△1億円、7.4%減少の16億円となっています。

(注)

業務純益 = 業務収益 - (業務費用 - 金銭の信託運用見合費用)

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券5勘定戻

	令和5年9月末	令和6年9月末
業務収益	12,938	13,405
資金運用収益	11,032	11,492
役務取引等収益	1,816	1,815
その他業務収益	89	97
業務費用	11,234	11,878
資金調達費用	138	402
(うち金銭の信託運用見合費用)	(0)	(0)
役務取引等費用	727	748
その他業務費用	781	1,061
一般貸倒引当金繰入額	△82	-
経費	9,668	9,666
業務純益	1,705	1,527
(コア業務純益)	2,374	2,568
(コア業務純益投信解約損益除く)	2,374	2,560
経常利益	2,120	2,132
当期純利益	1,746	1,616

5 有価証券の時価情報

債券を中心に安全性を重視した有価証券運用を行っています。しかしながら、日本銀行の利上げ継続観測による国内金利の上昇等を受けて、保有有価証券全体での評価損益が△53億円となっています。

■満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和6年3月末					令和6年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	31,448	31,427	△21	205	226	31,743	31,558	△185	109	295

(注) 時価は期末日における市場価格等に基づいています。

■その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和6年3月末					令和6年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち益	うち損
株式	15,199	7,051	8,148	8,154	6	13,136	6,775	6,361	6,374	13
債券	339,600	351,941	△12,341	335	12,676	338,498	352,677	△14,178	413	14,592
その他	84,704	81,263	3,440	5,135	1,694	90,852	88,165	2,686	4,242	1,555
合計	439,504	440,256	△752	13,625	14,378	442,488	447,618	△5,130	11,031	16,161

(注) 貸借対照表計上額は期末日における市場価格等に基づいています。

※計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※令和6年9月末の計数は会計監査人の監査を受けていません。

トピックス

●能登半島復興応援企画

当金庫が応援する横浜F・マリノスのJ1リーグ公式戦（9月28日：対FC東京）において、日産スタジアムの東ゲート入場口前にブースを出展、LINE登録者先着500人に「マリノスケ、マリン」がプリントされたオリジナル缶バッジをプレゼントするとともに、地震と豪雨で被災した能登半島の特産品をPRしました。当日は、の与共栄信用金庫の職員3名も駆けつけ、特産品を紹介するチラシをサポーターに配布しました。



●「《よこしん》夏の建設商談会 2024」開催

取引先の販路拡大や売上増加を目的として、建設関連企業の参加バイヤーを本店へ誘致して商談会を開催しました。当金庫が主催するリアル商談会としては今回で5回目の開催、バイヤー9社が一堂に会する過去最大規模の商談会となりました。



●盲導犬育成支援

1頭でも多くの盲導犬が育つことを願い、公益財団法人日本盲導犬協会に盲導犬育成費の寄付を続けています。平成5年から実施しており、令和6年7月で31回（6,800万円）の寄贈となりました。

また、J1リーグ公式戦（6月29日：対東京ヴェルディ）において日産スタジアムの東ゲート入場口前にブースを出展、日本盲導犬協会の職員も参加して、盲導犬育成に対する知識啓発のチラシの配布および募金活動を実施しました。



新サービスのご案内

●よこしんバンキングアプリ取扱開始

本サービスはスマートフォンのアプリから残高照会や入出金明細照会などの機能をご利用いただけます。これからもお客さまの多様なニーズにお応えできるようサービスの拡充に努めてまいります。

アプリのダウンロードはこちらから⇒

Androidの方



iPhoneの方



令和6年11月発行

横浜信用金庫

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1

TEL. 045-651-1451 (代表)

《よこしん》ホームページ <https://www.yokoshin.co.jp>